

FM815 Radio Sweet
(FMラジオ・81.5MHzでON AIR!)
蒲生地区まちづくり協議会 情報番組

Happy Gamo

毎月第2土曜日
午前11:00~11:30

7月11日(土)放送予定
まち協今後の事業ついて

■蒲生地区の人口

(令和2年6月1日現在)

人口: 14,565人(-21)

男性: 7,213人(-11)

女性: 7,352人(-10)

世帯数: 5,297 (-12)

※()内は前月比

広報がもう

「このまちで、心豊かに住みたい」と

思えるまちづくり

がまチョコ



蒲生地区まちづくり協議会 チョコットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者: 東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所: 東近江市市子川原町461-1 蒲生コミュニティセンター内 TEL/FAX: 0748-55-3030

新役員体制でスタート!!

まちづくり協議会書面表決による議決

令和2年度の蒲生地区まちづくり協議会(まち協)総会を5月17日(日)に予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、本年度の総会は書面表決による議決となり、第1号~第5号議案について、賛成多数をもってすべて原案どおり、承認いただきました。

- 第1号議案 令和元年度 事業報告
- 第2号議案 令和元年度 収支決算・監査報告
- 第3号議案 令和2年度 事業計画(案)
- 第4号議案 令和2年度 収支予算(案)
- 第5号議案 役員改選(案)

任期満了に伴う役員改選(案)は、選考委員会より提案されたもので、以下が選出された新役員です。

なお、任期は2年間です。

会長	佐川 昭子	(再任)
副会長	西村 喜雄	(新任)
副会長	西澤 沢美	(新任)
事務局長	西野 芳和	(再任)
会計	吉村 政男	(再任)
監事	森 義光	(新任)
監事	外池千恵美	(新任)

会長あいさつ

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなく書面議決とさせていただきます。全議案を原案通りご承認いただき、役員改選で引き続き会長として重責をお預かりすることになりました。

「東近江市協働のまちづくり条例」に基づく認定団体として、地域の課題解決や、地域活性化を図るため、行政との協働、自治会連合会や関係団体とも連携して、「このまちで心豊かに住みたい」と思えるまちづくりを推進して参りますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

コロナウイルス感染拡大では、全国で「緊急事態宣言」が解除されましたが、一日も早い終息を願い、引き続き新しい生活様式のもと感染防止策を講じながら皆で乗り越えていきましょう。

会長 佐川昭子

令和2年度重点目標

「東近江市協働のまちづくり条例」に基づく認定を受け、地域を包括する団体として、共に考え、協力し合って「このまちで、心豊かに住みたい」と思えるまちづくりを推進します。人口減少が加速する各自治会の課題解決等について引き続き、具体的に取り組みます。また、蒲生地区の地域医療の核である「蒲生医療センター」の充実に協力、支援します。

令和2年度事業計画

承認頂いた計画は、以下のとおりです。(抜粋)

本部事業

- ・自治会と関係団体との連携強化
「蒲生まちづくり会議」「自治会まちづくり委員会」等の開催
- ・(仮称)「ガリ版伝承によるまちづくりの会」継続
- ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
- ・地域おこし協力隊への支援
- ・地域担当職員・地域活動応援隊との連携
- ・蒲生地区で行われるイベントや事業に参画
「蒲生あかね夏祭り」「蒲生いきいきあかねフェア」「あかねっ子フェスタ」等
- ・大型金属性資源回収事業
- ・お月見コンサートを蒲生コミセンと共催
- ・蒲生地区新年互礼会の開催
- ・人材バンクシステムの構築
- ・蒲生医療センターへの協力、支援
- ・近江鉄道存続への協力
- ・その他:「まちづくり懇談会」に参画、各種団体グループとの連携

委員会

まちづくり計画推進委員会

- ・6つの基本方針に沿って実現に向けて取り組む
- ・計画の進捗状況及び現状把握を図るアンケートを実施し検証する

【次頁へ続く】

健康講座開催

【日 時】令和2年7月14日(火)
10:00~11:30

【会 場】蒲生コミュニティセンター
学習室7

【内 容】

- ①家庭でもできる簡単な体操で運動不足を解消しましょう
- ②認知症の理解と予防について
- ③骨密度測定



【持ち物】飲み物、タオル、マスク

【定 員】20名(先着)

【申込み&お問い合わせ】

蒲生地区まちづくり協議会事務局
TEL・FAX 0748-55-3030
(月~金の午前中)
【ふれあい交流部会】

新型コロナウイルスと共に暮らす

~正しく恐れよう~ 【マスク編】

新しい生活様式が政府から発表されました。「3密を避ける」「ソーシャルディスタンス(2m)を保つ」「外出時はマスクを着用」など、新型コロナウイルスと共に暮らしを営むことが求められています。

しかし、この夏は、猛暑が予想されています。6月頃から、気温の上昇と共に、湿度も上がってきます。そんな中で、マスクを着用していると、熱中症になる恐れがあることを医師からも懸念を示されています。そこで、少しでも夏場に心地よく過ごしてもらえるようにワンポイント。

①こまめに水分をとること。

夏場は、水分がどんどん奪われていきます。マスクをしていると余計に水分が失われるので、戸外でもお家の中でも水分補給をこまめに。



②気分が悪くなったら、人を避けてマスクを外して、大きく深呼吸。

たくさんの方がいる前では、マスクを外すことは難しいと思いますが、体調が悪いと感じたら、少し人を避けて深呼吸してください。改善されない場合は、医療機関に受診してください。



③夏用の通気性のあるマスクを着用するのも一つ。

最近、夏用の通気性のいいマスクの販売もされています。

※ハッカ油を1滴たらすと爽快感を感じる方もおられるとのこと。(肌の状態を確認してくださいね。)



今回、ご紹介する方法は、ほんの一部です。みなさんの工夫次第で心地よく過ごせる方法があると思います。正しく恐れ、このウイルスと共存する方法を一緒に考えていきましょう。

“縁側カフェ”

6月6日(土)より再開しました
◇毎週土曜日 午後1時~4時
◇ガリ版ホールにて

【応援塾】

“がまチョコ”に皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

Eメール: gamomachikyoe-omi.ne.jp

FAX: 0748-55-3030



【HPのQRコードです】

蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。

広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」を毎月発行
- ・FMひがしおうみ蒲生まち協番組『Happy Gamo』の放送
- ・情報発信及び情報収集に努める
蒲生まち協ホームページの活用

ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・毎月第3土曜日を、ふるさと美化「蒲生野の日」と定め啓発を図る
チラシ、のぼり、ポスターの配布
- ・川づくり活動
 - ①佐久良川・日野川モデル地区の美化活動
 - ②川づくり拠点「佐久良川高水敷」の整備及び「佐久良川左岸」(蒲生体育館東側)の整備

部 会

ひだまり部会

- ・自治会自主防災活動サポート事業(出前講座)
防災研修、HUG避難所運営ゲーム、DIG図上災害訓練、クロスロードゲーム
- ・自治会減災対策の啓発及び推進
蒲生地区減災研修会
がもうシェイクアウト2020(市と共催)
- ・自治会の課題について『防災』の支援
- ・命のバトン継続事業

お知らせ!

新型コロナウイルス感染予防のため、下記の事業・イベントを中止させていただきます。

「2020 除草作業とゴミ拾い!」

- 第1回: 6月20日(土) 中止
- 第2回: 7月18日(土) 中止
- 第3回: 8月22日(土) 実施の予定
- 第4回: 9月19日(土) 実施の予定

【ふるさと蒲生野川づくり委員会】

「第49回蒲生あかね夏祭り」

7月26日(日)に予定しておりました盆踊り・花火の饗宴など全面中止、楽しみにしておられた多くの皆様には大変申し訳ありません。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

【蒲生あかね夏祭り実行委員会】

ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発(出前講座)
- ・健康相談・血圧測定等の窓口開設
- ・各種講座や教室の開催
- ・検診啓発

エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動
生ゴミ堆肥化によるプランター野菜の普及
- ・設置型及びダンボールコンポストの普及
- ・ゴーヤカーテンの設置・栽培
- ・東近江市より生ゴミ減量化推進事業の受託

あかね部会

- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり
応援塾: 縁側カフェの運営
おしゃべりコーディネーター・がもう地域デビュー応援塾の開催
- ・結婚活動支援事業
赤い糸プロジェクト vol26 の開催
- ・子育て支援事業
おはなし会、子どもの居場所づくり

万葉ロマンの里づくり部会

- ・「万葉の寺小屋」の出前講座の開催
あいがもおも知ろ塾
がまチョコ「がもうの話」を連載
- ・郷土の先人達の生き様と功績を伝える
「ガリ版関連企画展」を中心に実施
- ・マックスクラブ活動への協力参加
- ・(一社)がもう夢工房との連携

地域活性化部会

- ・コスモス栽培による見せる(魅せる)農業
未利用市有地の活用、観光誘客策としてコスモス栽培
- ・蒲生地区特産新品種開拓実証ほ場栽培管理事業
 - ①果樹植栽後の育成管理(継続)
 - ②将来の管理体制の検討(継続)
- ・(一社)がもう夢工房への活動支援

【蒲生地区まちづくり協議会】

コガモ通信

ランチ&スイーツ
(コガモカフェ・メニュー)

- ★和牛すき焼き定食: 1,200円
- ★豚の佐久良川みそ焼き: 800円
- ★コガモ ランチ: 700円
- ★オムライストマトカレー: 800円

◆お弁当のご注文、少数より承ります。
●営業時間/10:00~14:30 ●定休日/水・木曜日

日曜野菜市 (コガモマルシェ)

毎週日曜日の朝は、安心の蒲生産=新鮮野菜市から始まる!
●営業時間/9:30~13:00

全てのお問い合わせ先: ●東近江市桜川西町281-1 0748-56-1395

まいにちガリ版

協力隊日誌

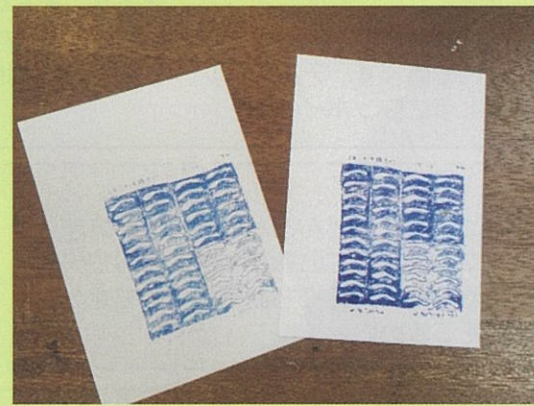
ガリ版文集

こんにちは。今年の春は短くて、あっという間に夏の暑さですね。

さて、今回はガリ版文集についてです。2月から募集を行い、全国さまざまところからご応募をいただきました。関西のラジオや新聞などで文集についてお話しする機会を得たおかげで、東近江市内外の方からご応募があり、見て下さっている方はいらっしゃるのだなあ、としみじみうれしく思っています。

応募いただいた作品に目を通して思うのは、みなさんの考えていることや周りの人々や環境への目線がそれぞれ違うこと。おしゃべりするのでは伝わらない、その人のテンポや、なにを大事にしているかが見えてくる気がします。

そんなものを見せていただけるとは、とても得難いことですね。



【地域おこし協力隊 三崎 尚子】

たんけん
はっけん
ほっとけん

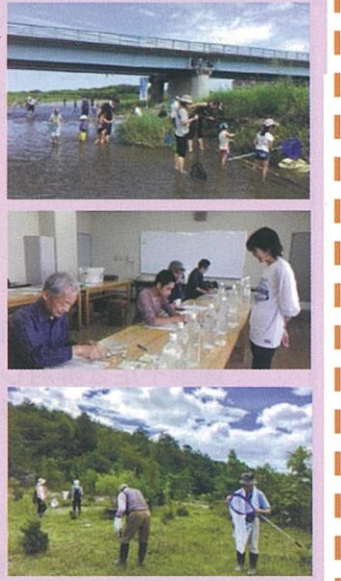
蒲生野考現倶楽部

身近な水環境(主に日野川流域)を歴史ある蒲生野をフィールドに世代を越えて学び伝える活動を始めて30年が経ちました。現在、蒲生地区と日野町(鎌掛)を軸に当地区では、蒲生のマックスクラブ・わくわくチャレンジ隊を担当。年間約10回、親子で五感を楽しむ体験学習を実施。

夏休み最初の佐久良川での「かいどり大作戦」では、近年なかなか川に入る機会のない参加者の目が輝き大きな声飛び交います。捕まえた魚の中には絶滅危惧種のスジシマドジョウをはじめ約25種、水棲生物も20種を超え、県下でもこれだけの生きものが確認出来るのは貴重な場所となりましたが、近年の自然環境の変化で川に堆積する土砂や川の中に生える草木が多くなり心配です。活動は他に、日野川やため池20か所まで水を採取、全国一斉水質調査に約20年間参加しています。

また、環境省のモニタリングサイト1000(里地調査)にも参加。積水樹脂(株)様のご厚意で稲垂湿原のめずらしい植物やトンボ、野鳥などを調査中で、データは日本自然保護協会に集められています。

見慣れた所も視線を変えてみると、宝物が沢山あります。



蒲生の遺跡 X 外広遺跡(鑄物師町) (弥生時代後期 ~ 平安時代末)

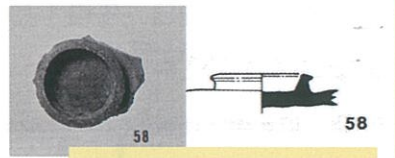
遺跡は、徳円溜から竹田神社を含む近江鉄道までの地域に展開する遺跡で、昭和57年(1982)以降の分布調査やほ場整備事業に伴う調査などにより確認された遺跡である。発掘調査で6世紀後半から8世紀代の一辺が5m前後で作り付けカマドを持つものなど竪穴住居が8棟、また、ほぼ同時代の3間×4間の掘建柱建物6棟が見つかり、奈良時代まで併存していたと解った。

出土遺物は、6世紀後半から9世紀中葉の弥生土器・須恵器・土師器・灰釉くかいゆう陶器・緑釉陶器・信楽焼のすり鉢・木器が大量に出土し、中には日野町大谷古窯(8世紀後半)から出土した環状つまみ須恵器が当遺跡からも出土して、近くに岡本古窯(7世紀後半)《蒲生の遺跡XI 岡本遺跡 R2/3 参照》も存在することから土器制作集団との関連も推定されている。

また、溝からは砂地の崩れやすい地山を補強する土留め杭と、建築材を転用したと思われる板材が出土した。外広遺跡の南は宮ノ前遺跡(日野町石原)に接し、宮ノ前遺跡との関連を考える時、古川(ふるこ)上流の農耕開発にともなって集落経営が行われていく過程が想像される。なお、当遺跡の西端にある「近江鉄道朝日野駅」近くに「呉媛塚くごひめつか」《呉媛伝承 H28/1 参照》がある。



外広遺跡全景(中央は竹田神社)



環状つまみ 平面・断面



外広遺跡位置図

連載・万葉講座

がもうの話!